



教員の回答で最も多かったのは、「学校行事」(31%)で、「授業づくり」(21%)、「7月・12月の行事」(10%)と続き、これらが上位3項目となっています。2学期制のなか、行事のあり方を検討し実施してきましたが、今後も年間のなかで、行事をどう位置づけ、実践していくか、また、「授業の質」をどう高めていくかが大きな課題となると考えられます。

また、保護者の回答で最も多かったのは、「総合的な学習の時間」(25%)で、「分かりやすい授業づくり」(22%)、「学校行事」(15%)と続き、これらが上位3項目となっています。

教員、保護者ともに、「授業のあり方」や「行事」が上位に挙げられており、今後2学期制をより充実させていくための課題として両者がほぼ一致していることがうかがえます。

さらに、今回のアンケート結果から、保護者が課題としている第1位に「総合的な学習の時間」が挙げられていました。

平成14年度から新たに創設された総合的な学習の時間は、これまでの2年間の移行期間を経て地道な研究がなされ、学校ごとに特色ある学習を展開してきました。

今回のアンケート結果をふまえ、学校現場では、総合的な学習の時間のあり方を検討する必要がありますと考えられます。また、その内容や子どもたちの取り組みの姿などを、保護者の皆さんに、これまで以上に伝える機会を設けて、広くご理解いただく必要があると考えられます。

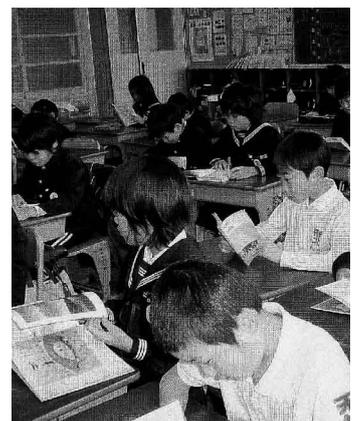
2学期制導入初年度の取り組みを振り返るなかで、2学期制を充実させるための課題について検討を深め、2年目への新たな一歩を踏み出すことが大切であると考えます。



アンケートの子どもたちへの設問で、「あなたは、これまでとくらべて、12月の時期に授業にじっくりと取り組むことができたか」を問いました。「じっくり取り組めた」「取り組めた」と答え、小学生は55%、中学生では35%でした。

学校生活の中心を占める授業に、このように精一杯取り組もうとする子どもたちの姿をうれしく思うと同時に、蒲郡市内の子どもたちをどう育てていくか、学校教育に課せられた責任の大きさを痛感するところです。

2学期制の導入に合わせて、昨年度から学校では、これまでの教育活動を見直し、よい点は残し、改めるべき点は改善をしてきました。そして、2学期制のもつ種々のメリットを十分生かせるように努力してまいりました。その結果、2学期制が順調に歩み始めていると確信しています。



今後は、学校ごとに、導入初年度の成果と課題を振り返るなかで、アンケートにお寄せいただいた声を反映できるように努めてまいります。そして、2学期制導入2年目に向けて、力強く踏み出していきたいと考えています。

学校教育に対する市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

本年度、9月・1月の2回にわたる「2学期制アンケート」を市内各小中学校の保護者、児童・生徒、教員など、多くの方々のご協力をいただいで、実施することができました。誠にありがとうございました。

来年度は、年度末に一度、アンケートを予定しています。ご協力のほど、よろしく申し上げます。

学校教育課

66 1165